

花柳昌三郎舞踊公演

— 踊と舞 —

清元『北州千歳寿』

花柳昌三郎

曲目解説

笠井 賢一

長唄『黒髪』

花柳昌三郎



平成26年6月27日(金) 午後6時開演
於 銚仙会能楽研修所

笠井 賢一演出
花柳昌三郎振付

清元『北州千歳寿』

唄 清元梅寿太夫 連中
清元 紫葉

(録音テープ)

清元の出世作とも言われるご祝儀物の名作。大田蜀山人作詞・川口お直作曲。北州は江戸の吉原のことで、「およそ千年の鶴は」と祝言で語りだし、吉原の年中行事や四季を巧みに詠み込み、吉原に生きる人々を活写し、最後は清元の繁栄を寿ぐ祝言で終わる。名妓玉菊の追善の為に創られたということもあり、祝言の粋組みの内に鎮魂も含むスケールの大きな作品。広がりとも奥行きのある祝言の世界を踊り続けてきた花柳昌三郎の祝言の踊りの集大成として踊る。

曲目解説

笠井 賢一

笠井 賢一演出
花柳昌三郎振付

長唄『黒髪』

唄 杵屋 佐臣
杵屋 秀子
三味線 今藤長十郎
今藤長由利
尺八 設楽 瞬山
(録音テープ)

この曲は「大商蛭小島」という桜田治助作の歌舞伎で、伊東佑親の娘辰姫が恋人の源頼朝を北条政子に譲り、二人に新枕を交わさせる為に二階に上げ一人髪を梳きながら、思い切れない恋心を切なく嘆く場に使われたメリヤスであった。これを上方では地唄に移し濃艶な情緒を持つ人気曲となりましたが、この度は元々の長唄での上演。尺八を加え、歌舞伎の世界を離れ、より普遍的な人の出会いと別離がもたらす情愛と孤独を、より深く哀切に表現する。

花柳昌三郎略歴

花柳昌太郎に入門。劇団民芸研究生として3年間宇野重吉の指導を受ける。以来日本舞踊の古典の確固とした技術をもとに、他ジャンルの演劇人との積極的な交流を通して新しい舞踊表現を切り拓いてきた。また古典と創作のリサイタルを続け、創作舞踊の振り付けや、古曲の新たな視点での上演などで高い評価を得ている。芸術祭賞、芸術選奨文部大臣賞、紫綬褒章、旭日小綬章など受賞。

平成26年6月27日(金)
午後6時開演(午後5時30分開場)

◎入場料 3500円(全自由席)

◎お申込み・お問合せ アトリエ花習

電話 090-9676-3798

Fax 03-5988-2810

◎主催 花柳昌三郎

TEL 50-0045

東京都渋谷区神泉10-17

(ネオハイシティ渋谷1F)

電話 03-3463-2998

◎錬仙会能楽研修所

TEL 07-0062

東京都港区南青山4-21-29

電話 03-3401-2285

地下鉄 表参道駅下車

(銀座線・千代田線・半蔵門線)

A4出口より徒歩3分

※駐車場はございません。

